

自然の中で遊ぼう！

澄んだ水をたたえた湖

緑あふれる公園

ここは自然の楽園



ふるさとの森公園
 百体観音堂周辺の約2.6haの自然豊かな公園。緩やかな傾斜に芝生や樹木が植えられ、バーベキュー広場があり、休日ともなると、家族つれやグループなどで賑わっています。遊歩道が整備されていて、森林浴等も楽しめる四季折々の花が咲きます。芝生の広場では、子供たちがのびのびと遊べます。
観光農業センター
 百体観音堂の南にあり、観光案内や近隣農家の生産物直売所もあります。

水押川の曼珠沙華



高窓の里
 かつて、養蚕業が盛んだった頃に造られた高窓のある養蚕農家が、いまも数軒残っています。屋根の上に小屋根があり、蚕室の換気用の窓が設けられています。そこから高窓の家と言われています。



サクラとヘラブナ釣りの名所・間瀬湖
 間瀬川を堰き止めて造った間瀬湖は、昭和12年に竣工した灌漑用コンクリートダムで、現在も用水として利用されています。新日本百景に指定されているほど周囲の環境は抜群で、桜の名所としても有名です。湖畔に映える4月上旬の桜は訪れる観光客を和ませます。また、ヘラブナの釣り場としても知られています。関東一澄んでいると定評のある水は、水中のウキの動きが見えるほどの透明度を誇っています。間瀬堰堤と管理橋は国登録有形文化財となっています。



ふれあいの里 いづみ亭
 地元の農家を中心になって運営している手打ちそばの店。100%地元産のそば粉でつくるこだわりの味。事前に予約すればふるさとの味伝承士の指導によりそば打ち体験もできます。



成身院百体観音堂
 児玉三十三霊場の一番礼所、通称「三三三堂」と呼ばれ、三層三階建ての珍しい建築です。三層に秩父三十四方所、二層には坂東三十三場所、三層には西国三十三方所霊場の観音様が祀られています。天明3年に起きた浅間山大噴火の犠牲者供養のため寛政7年頃に建設されました。明治21年火災で焼失し、明治43年に再建されました。

